

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立今市 中学校

生徒数

141

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.95	32.44	37.95	52.18		90.49	8.02	202.32	18.20	41.26
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	24.91	26.62	41.28	45.76		58.51	8.99	169.61	11.66	48.67
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

- ・合計点では、男子が全国平均に及ばないものの大阪市平均を上回った。女子は昨年度は若干上回った大阪市平均を下回った。
- ・昨年、男女とも大阪市平均を大きく下回った、「20mシャトルラン」は男女とも大幅に改善することができた。
- ・男女ともバランスのとれた体力づくりが必要である。
- ・大阪市平均を上回った項目は男子が昨年の3から6に増加した、女子は逆に5から4に減少した

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・体力づくり運動として、ランニング・腕立て伏せ・腹筋・背筋・馬跳び・倒立などを授業開始時に継続して行っている。一定の成果が表れているが、運動能力とりわけ、投げる能力の育成面ではまだまだ不十分である。
- 3年間を通して、保健体育科の授業では、球技・陸上競技・水泳・器械体操・武道・ダンスの領域をバランスをとって実践している。また、技能の向上を図るだけではなく、スポーツする楽しさを体感させることを重視している。今後も指導法の工夫改善を図り、バランスのとれた体力・運動能力の育成を図り、運動習慣の定着を図る。
- ・運動部の部活動のさらなる活性化を図る。